

2022年1月

新年にあたって

令和4年の年初にあたってご挨拶申し上げます。

わが国経済については、一昨年来の新型コロナウイルスパンデミックとの共存を図りつつ持ち直しの段階に来ていると認識していますが、原材料品の世界的な供給ネック問題、デジタル化対応、労働生産性の伸び悩みと所得改善の遅れなど課題も山積している状況です。

こうした中で、北海道経済はもともと消費依存型産業構造のハンディもありますが、一次産品輸出やコロナリバウンド消費の動きなどから徐々に景気回復してゆく過程の年になるものと思われまます。

上記のような環境下で、札幌証券取引所としては、道内企業に対して、将来を見据えた人材確保や知名度アップのための新規上場による公開企業化と企業成長を促すため、これに対応した各種セミナー活動や企業成長のための勉強会、上場制度の見直しのための研究会などの活動を活発化させています。

また一般投資家の皆様への情報提供として、適宜ホームページを見直しリニューアルして個人投資家向けIR、資産形成セミナーなどを外部団体とも協調して開催、配信しており好評を得ています。その他今後も当面はリアル活動の制約の中でもWEBの活用拡大などを図り、取引所の「情報の受発信機能」を一層充実してまいりたいと思っております。

札幌証券取引所は、1950年以来、国の特別法に基づく「証券会員制法人」として証券関係者をはじめ多くの方々に支えられ、北海道の地域経済インフラとして、今日まで歩んできております。これからも、その歩みを止めることなく、道内企業や投資家の皆様に活用される取引所を目指して業務のDX化も含め不断の見直しに努める予定です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

札幌証券取引所